

世論調査の概要

(平成29年7月2日執行東京都議会議員選挙)

選挙に関心があった理由

◇「東京都政や東京都に関する選挙に関心があったから」が約7割
前回選挙と比較して35.8ポイント増加 ↑

実施の対象と概要

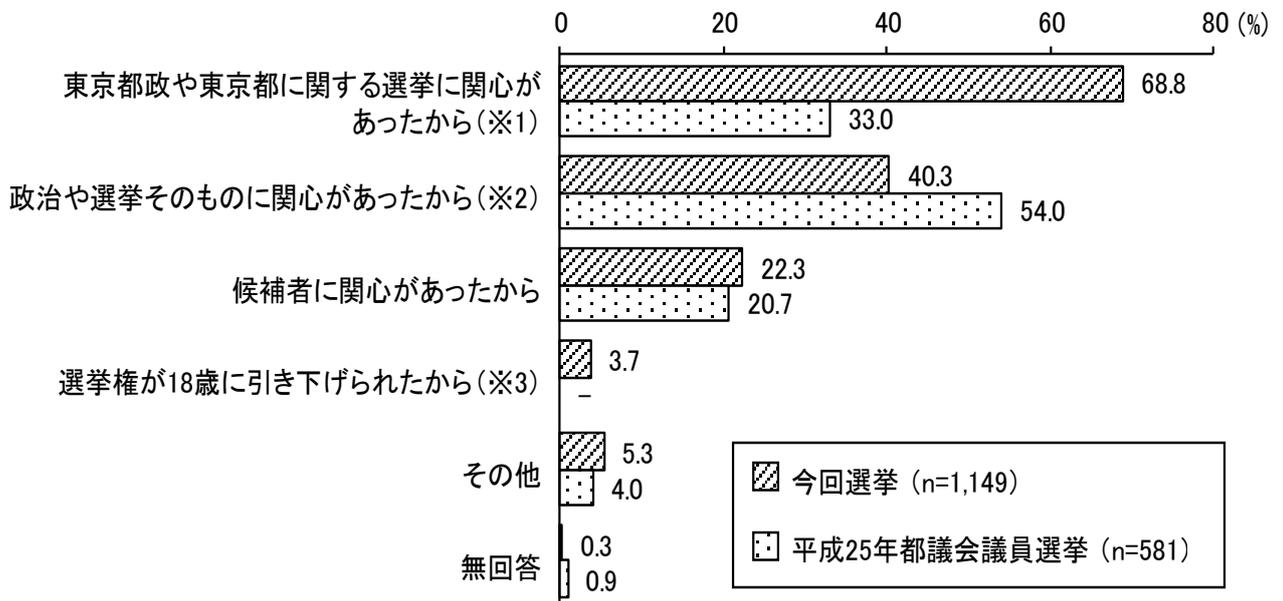
- ・29年7月2日執行東京都議会議員選挙
- ・回答者数：1,725人（対象3,000人） ・個別面接聴取法（7月21日～8月22日）

1 選挙に関心があった理由は、

「東京都政や東京都に関する選挙に関心があったから」が約7割

- ・東京都議会議員選挙に『関心があった（計）』と回答した方に、関心があった理由を聞いたところ、「東京都政や東京都に関する選挙に関心があったから」が約7割。
- ・前回の平成25年都議選と比較すると、35.8ポイント増加

選挙に関心があった理由（時系列比較）



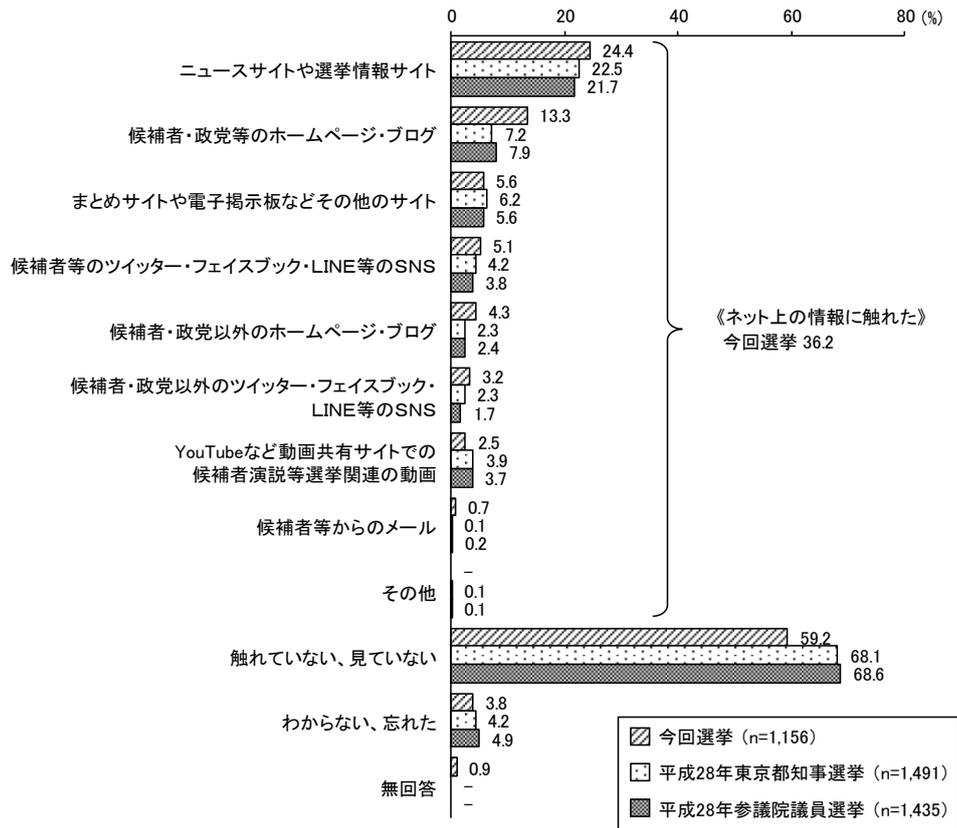
注：※1 平成25年調査は「もともと東京都政や東京都に関する選挙に関心があったから」
※2 平成25年調査は「もともと政治や選挙そのものに関心があったから」
※3 今回調査からの選択肢

問い合わせ先
選挙管理委員会事務局 選挙課
電話 03 - 5320 - 6903（直通） / 55-111・136（内線）

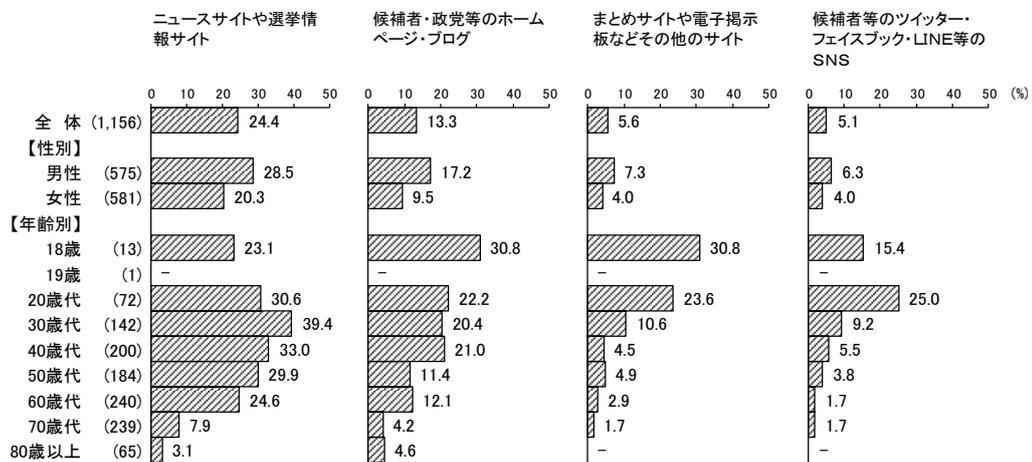
2 ネット上の選挙情報に触れた人は増加傾向

- ・過去の調査結果と比較すると、「ネット上の情報に触れた」と答えた人が増加している。
- ・「ニュースサイトや選挙情報サイト」は30歳代で約4割、40歳代で3割台半ば、「候補者・政党等のホームページ・ブログ」は20歳代、30歳代、40歳代で2割以上と、50歳代以上と比べ高くなっている。
- ・20歳代は、「まとめサイトや電子掲示板などその他のサイト」及び「候補者等のツイッター・フェイスブック・LINE等のSNS」で2割台半ばと、他の年代と比べ高くなっている。

実際に触れたネット上の情報 (時系列比較)



実際に触れたネット上の情報 (性別・年齢別)



3 年齢が若いほど投票日当日に投票先を決めている

・年齢別でみると、年齢が若いほど投票先を決めた時期が遅い傾向にあり、「投票日当日（7月2日）」は20歳代、30歳代で3割以上と高くなっている。

投票する候補者を決めた時期
(性別・年齢別)

